

□議員名：中島 好人

1 藤田市長の施政方針について

論点	安心・安全なまちづくりとして、降雨時に氾濫の恐れがあるものについて緊急性の高い河川から年次的にしゅんせつ工事を行っていくとしているが、沖中川の越水による冠水問題についてはどうか。
回答	まずは、沖中川の改修工事から着手する予定であり、令和8年度予算において調査・設計に要する委託料を予算要求している。

論点	宇部市では、浸水対策として、住宅や店舗などを浸水から守るために、止水版の購入費用や設置工事の一部を補助する制度を創設したが本市はどうか。
回答	そこまで検討するに至っていないが、どういう方法がいいかということとは検討していきたい。

2 子育て支援について

論点	国の制度として、小学生の給食は無料となった。宇部市では、対象を広げて中学生まで無料としているが、本市も中学生まで無料にしてはどうか。
回答	相当な財源が必要となり、恒久的な財源が確保できないため、市独自で実施する考えはない。

論点	子どもの医療費無償化は、他市と同様に高校卒業まで実施すべきではないか。
回答	高校卒業まで実施した場合、約8,400万円の増額となり、厳しい財政状況下では、実施は困難であると考えている。

3 市営住宅について

論点	高層に住む高齢者が低層に住み替えを希望した場合、約5,000円もかかる診断書の提出を求めているが、宇部市のように診断書なしで、希望が叶うようにしてはどうか。
回答	高齢者の住み替え要件や手続きの更なる簡素化の可能性については、検討・協議する余地があるので引き続き研究していく。